

【産科における新型コロナウイルス感染症への対応 Q&A】

2024年1月12日更新

- Q1. 妊婦健診の付き添いは可能ですか？
- Q2. 母親学級は開催していますか？
- Q3. 夫（パートナー）の立ち会い出産はできますか？
- Q4. 入院中、家族の面会は可能ですか？
- Q5. 帝王切開分娩後、家族が母子と面会することは可能ですか？
- Q6. お産の時もマスク着用しなければなりませんか？
- Q7. 入院中、病院の売店は利用できますか？
- Q8. 退院時の迎えの家族は、病棟に入ることができますか？
- Q9. 妊娠中です。発熱、咽頭痛があり、新型コロナウイルスに感染したかもしれません。
- Q10. 妊娠中です。同居家族が新型コロナウイルスに感染しました。どうしたらよいですか？
- Q11. 妊娠中や授乳中に、新型コロナウイルスワクチン接種しても大丈夫ですか？

Q&A

Q1. 妊婦健診の付き添いは可能ですか？

ご家族様お1人のみ、付き添いが可能です（[産婦人科外来の付き添いについて](#)）。10歳未満のお子様はお付き添いの人数に含みませんが、感染症状のある場合はお連れにならないでください。

Q2. 母親学級は開催していますか？

現在、以下の5つのクラスについてライブ配信を行っております。クラスのスケジュールは、毎月、妊娠出産アプリ『[Baby プラス](#)』よりお知らせを配信いたします。また一部は動画配信ページ『[新しい命のために](#)』より、ご視聴いただくことも可能です。

<ライブ配信を行っている母親学級>

- 前期マタニティクラス
- 後期マタニティクラス
- 自然分娩クラス
- 和痛分娩クラス
- 授乳と育児の準備クラス

Q3. 夫（パートナー）の立ち会い出産はできますか？

令和5年5月8日以降、出産前から夫（パートナー）にお付き添いいただけるようになりました。詳細は[立ち会い出産に関する説明書](#)をご覧ください。立ち会い出産を希望される方は、健康チェックシートに少なくとも1週間分の健康観察の記録をお願いいたします。

健康チェックシート（[妊婦用](#)・[付添者用](#)）

Q4. 入院中、家族の面会は可能ですか？

令和5年10月16日より入院中の面会制限を緩和いたしました。面会はお1人30分の予約制です。面会者は15歳以上の方、お1人に限ります。母子同室中であれば、赤ちゃんにもお会いいただけます（[3階病棟での面会](#)）。なお新生児室にて治療中の赤ちゃん、母子同室を始めていない赤ちゃんは、新生児室にて面会可能です（[新生児室での面会](#)）。

ビデオ通話等によるオンラインでの面会は、ご自身のスマートフォンなどをご使用ください。4人部屋の方はデイルームにて、個室の方は自室にてお願いいたします（院内専用 Free Wi-Fi 接続可）。

Q5. 帝王切開分娩後、家族が母子と面会することは可能ですか？

ご家族様お1人のみ、母子との面会が可能です（[帝王切開分娩時のご家族と赤ちゃんとの面会](#)）

Q6. お産の時もマスク着用しなければなりませんか？

産科診療にかかわる医療者は、不織布製マスクおよびアイシールド着用などによる感染予防を徹底しております。しかしながら、分娩時には産婦さんの呼吸が荒くなりやすいため、長時間にわたり産婦さんに接してケアをする助産師は飛沫暴露を受けやすい状況下にあります。そのため、分娩中の産婦さんには不織布製マスクの着用をお願いしております。なお、分娩時にマスク着用によって苦痛を感じる場合は、遠慮なく助産師にお申し出ください。

Q7. 入院中、院内売店は利用できますか？

ご利用いただけます。入院患者さまの売店利用時間は、月-土 13:00-16:00（第3土曜日、祝日を除く）です。必ずマスクを着用していただき、売店利用のために病棟を離れる時と、売店から病棟へ戻った時には、ナースステーションにお声かけください。なお病棟外での面会はお控えください。

Q8. 退院の迎えの家族は、病棟に入ることができますか？

お迎えのご家族様は、お1人のみ産科病棟（3階）エレベーターホールまでお越しいただけます。

Q9. 妊娠中です。発熱、咽頭痛があり、新型コロナウイルスに感染したかもしれません。

● 新型コロナ感染症の検査・受診について

近隣の病院または当院の発熱外来を受診してください（[発熱外来受付時間](#)）。抗原検査キットを使ってご自宅で検査をすることも可能です。医療機関以外で陽性確認をした場合、高熱、咳がひどい、息苦しいなど、症状が重い場合は、早めに近医または当院の発熱外来を受診してください。この際、陽性を示す検査キット（現物または画像）の持参を求められる場合があります。受診前に医療機関に確認してください。

● 産婦人科外来への連絡について

陽性が判明した場合は、通常の妊婦健診は、発症日（無症状の場合は検査日）を0日として11日目以降となります。妊婦健診のご予約の変更等について助産師が対応いたしますので、診療時間内に産婦人科外来にお電話ください。診療時間は平日 8:00-16:00、土曜日 8:00-12:00（第3土除く）です。休診日の場合は翌診療日で構いません。ただし妊娠 37 週以降の方は、休診日であっても当院へご連絡

ください。この場合は病院代表 03-3951-1111 に電話をかけ、分娩室へとお申し出ください。

● 新型コロナウイルス感染症にかかった方への電話訪問

当院産婦人科では、かかりつけの妊婦さんが罹患された場合、療養中にご安心いただけるよう、助産師による電話訪問を行っております。外来診療時間内に助産師がお電話をかけ、ご本人の体調や様々な悩み・不安をお聞きします。診療が必要な場合は、当院産婦人科医と連携して対応いたします。なお医療施設へ入院された場合は、入院施設の医師の指示に従ってください。

● 新型コロナウイルスに感染した方の分娩対応について

妊娠中に感染された場合、感染時の妊娠週数・症状に応じて個別対応としております。

Q10. 妊娠中です。同居家族が新型コロナに感染しました。どうしたらよいですか？

● 家庭での感染予防について

妊婦さんご自身への感染を予防するために、生活環境を感染者と分けることが理想です。感染者がお子様の場合は、家庭内療養となると思います。感染したお子様のお世話は、できる限りご主人など他のご家族に任せ、食事や寝室などの部屋を分けるようにしてください。またやむを得ずご自身がお子様のお世話をされる場合は、マスクを着用と十分な手洗いをを行い、可能な限り感染を予防してください。

● ご自身の健康観察について

感染者との最終接触日から7日間のご自身の発熱、咽頭痛など感染症状に注意してください。発症を疑う症状があれば、「Q6. 新型コロナウイルスに感染したかもしれません」を参考にご対応ください。

● 受診・入院について

通常の妊婦健診は、感染者との最終接触日を0日として、できる限り8日目以降としてください。なお健康観察期間にご本人が分娩などにて当院に入院された場合、感染拡大防止策としてこれまでの濃厚接触者に準じた対応となります。

● 産婦人科外来への連絡について

外来診療時間内に、産婦人科外来へお電話ください。外来診療時間は、平日 8:00~16:00、土曜日 8:00-12:00（第3土曜日を除く）です。休診日の場合は緊急でなければ翌診療日にお電話ください。

Q11. 妊娠中や授乳中に新型コロナウイルスワクチン接種しても大丈夫ですか？

妊娠各期および授乳中にも、ワクチン接種をお受けいただけます。しかしワクチン接種から手術までの期間が短い場合、術後の一時的免疫機能低下により抗体が十分に作られない可能性があります。またワクチン接種による発熱などの副反応と、術後合併症との鑑別が困難になることも考えられます。そのため、一般に手術前後には一定期間あけてからワクチン接種を実施することが推奨されております。当院では各学術団体の意見を参考に、手術前・後の2週間はワクチン接種を控えることが望ましいと考えております。なお経膈分娩予定の方も分娩経過によっては帝王切開術が必要となります。このため当院では、安心して出産に臨んでいただくためにも、遅くとも妊娠35週ごろまでに接種されることをお勧めいたします。なお、このことは妊娠35週以降の接種を禁止するものではありません。

5 類移行後の新型コロナウイルスワクチンの妊婦への接種について（日本産科婦人科学会）

※その他の新型コロナウイルス感染症に関する産婦人科の対応につきましては、[『聖母病院にて出産予定の妊婦様・ご家族様へ』](#)をご参照ください